

都市・ひと・自然を考える

10月4日は都市ビル環境の日

2008

# 都市ビル環境の日

今年のテーマ

「都市冷却化への挑戦」

—街(まち)を冷やそう!—

行事プログラム

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

# 都市ビル環境の日

## コミュニティの快適な環境創造をめざして

### 10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の間としての事務所ビル、生活の間としての高層住宅ビル、余暇の間としての興業場ビル、健康回復の間としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住み易い街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。

# 「都市冷却化への挑戦」

## ～街(まち)を冷やそう!～

地球温暖化が深刻な社会問題となっており、洞爺湖サミットでも主要議題となりました。特に都市部においては、車やエアコンの排熱、コンクリートやアスファルトによる反射熱、緑や水辺の減少等の要因や居住者が夜遅くまで照明や冷房を必要としているライフスタイルの要因もあり、ヒートアイランド現象が顕著になっています。豊かさや便利さが原因となって環境悪化の歯止めがかからない状態です。このような都市環境問題は、都市計画や建築計画にも起因しますが、建物環境に携わっているビルメンテナンスが地域社会の温暖化対策に貢献できることはないでしょうか。

今、行動しないと将来とりかえしのつかない状態に陥ることも考えられます。我々ができることから始めていく、気付きのきっかけになるように願い、今年度のシンポジウムでは「温暖化対策」ではなく、少し視点を変えて「街を冷やす」ためにはどうすればよいかを探っていきます。

### 行事内容

*Symposium*

## シンポジウム

日時：平成20年10月3日（金）13：30～16：30

会場：九州エネルギー館

13：30	開会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長	金子 誠
13：35	来賓挨拶	福岡県知事	麻生 渡
		福岡市長	吉田 宏
		北九州市長	北橋 健治
13：50	基調講演	国立大学法人 山口大学農学部 教授	山本 晴彦
14：50	福岡市の取り組み	福岡市環境局温暖化対策課 課長	安部 修
——— 休 憩 ———			
15：20	研究発表	(社)福岡県ビルメンテナンス協会	青年部
15：40	統括講演	国立大学法人 熊本大学大学院自然科学研究科 教授	石原 修
16：30	閉会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会 副会長	古賀 修

*Clean up Fukuoka*

## クリーンアップ福岡

日時：平成20年10月3日（金）  
10：30～12：00

場所：福岡県下主要都市中心部  
及び会員受託物件の周辺

内容：公共施設の清掃及びゴミ収集

*Child Painting Contest*

## 子ども絵画コンクール

作品展示：平成20年9月30日（火）  
～10月3日（金）

展示場所：九州エネルギー館  
多目的ホール



(社)福岡ビルメンテナンス協会  
会長  
金子 誠

旺盛な問題意識をもって、本行事を  
温暖化問題解決の実験場としましょう。

平成20年度『都市ビル環境の日』行事を行政・関係協賛団体のご支援を賜り、会員各位の心強い尽力により開催できますことにこそより厚く御礼申し上げます。

協会は地域コミュニティの快適な環境創造を目指して、1995年より当環境保全啓発活動を継続してまいりました。行事は、公共の場の一斉清掃「クリーンアップ福岡」と都市環境保全の最適化を推し進める「シンポジウム」の二つの活動から成っており、行事の両輪として十三年以上にわたり回り続けています。クリーンアップ活動は地域の人々にいまや風物詩として馴染んでもらえるようになりました。シンポジウムも回数を重ねるごとに業界外の関係者の参加も多くなり、活動趣旨のさらなる広がりを展望できる行事へと発展しています。そのような段階において本年度はテーマを「都市の冷却化」と定め、地域都市環境保全の最も大きな問題の一つである都市温暖化の防止・抑制に取り組むものであります。特に今回は問題啓発活動の広がりを求めて、小学生による絵画コンクールを企画しました。“街を冷やそう！”という呼びかけにより未来を担う子どもたちの柔軟な発想を引き出してもらおうとするものです。ポスト京都議定書として先の北海道洞爺湖サミットで世界の首脳が協議した温暖化対策を私たちが生活している地域のなかでどのように具現化し実践していくかという試みでもあります。CO<sub>2</sub>(炭酸ガス)削減の地球的課題は、従来のビルメンテナンスの施設管理概念にも大きな意識改革を迫っているように思われます。室内空気環境管理においてビル設備管理者の大きな使命はより清浄な空気の供給運転であります。これから事業部門“省エネ”の徹底的な推進を図ろうとするとき室内環境管理基準のCO<sub>2</sub>濃度許容限度に可能な限り近い空気質でのオペレーションも求められるようになるかもしれません。地球の温暖化防止(=炭酸ガス低減)のために都市ビルが吐き出す炭酸ガスをビル施設内に飲み込まなければならないという不可思議な矛盾も生まれてこうとしています。『都市ビル環境の日』は、まさにその解決の実験場になろうとしているのではないのでしょうか。本年も問題意識旺盛な皆さまの行事参加をお待ち申し上げます。



福岡県知事  
麻生 渡

地球温暖化を身近な問題とする  
有意義な取り組みに期待します。

「2008都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物の衛生的環境や安全性の確保を目指して関係業者の指導育成に尽力され、快適な都市環境づくりに貢献してこられました。

全国に先駆け、平成7年から10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、毎年、建築物に関するさまざまな問題をテーマにしたシンポジウムの開催や、一般の方々の参加を得て公共の場の一斉清掃を行う「クリーンアップ福岡」の実施、さらに今年度から新たに開催される子ども絵画コンクールなど、会員だけでなく幅広く県民の建築物環境衛生への意識向上に努めておられます。貴協会の皆さまの熱意とご努力に深く敬意を表します。

近年、都市部では、地球温暖化の影響だけでなく、建築物や自動車からの排熱や建築物の高層高密度化による蓄熱の影響でヒートアイランド現象が顕著になっており、環境に負担の少ない社会づくりを進めることが急務となっています。

県としましても、平成18年に策定した「福岡県地球温暖化対策推進計画」に基づき、家庭や事務所の省エネルギー・省資源への取り組みを進めています。

このような中、貴協会が「都市冷却化への挑戦」～街(まち)を冷やそう～を今年のシンポジウムのテーマに取り上げられることは、地球温暖化問題をより身近な問題として認識し、取り組みを推進する上で、大変有意義なことです。

記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展、会員の皆さまのご健勝を心から祈念します。



福岡市長  
吉田 宏

ヒートアイランド対策には、行政だけでなく皆様の主体的な取り組みが不可欠です。

本日は、「都市ビル環境の日」の各種行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、日頃から建築物における衛生的で快適な環境づくりにご尽力をいただくとともに、都市ビル環境の日を設定し、毎年「クリーンアップ福岡」のキャッチフレーズの下、公園の清掃等まちの美化活動に取り組んでいただいていることに深く感謝申し上げますとともに、心から敬意を表します。

近年、都市部の気温がその周辺に比べて高くなるヒートアイランド現象が深刻な問題となっております。ヒートアイランド現象による熱中症の危険性の増大や更なる使用エネルギーの増加、また、いわゆるゲリラ豪雨への影響などが懸念され、大都市におけるヒートアイランド対策は急務といえます。こうした中、「都市冷却化への挑戦」というテーマで、本日、シンポジウムが開催されますことは、大変意義深いものがあると考えております。

福岡市では、温暖化対策として市役所本庁舎ベランダ等でのあさがおのカーテンをはじめ様々な取組みを全庁を挙げて実施しているところですが、今年度はさらに、ヒートアイランド対策の実証実験として、「緑と水のクールスポット」をテーマに、市庁舎西側のふれあい広場に天然芝と保水性のある人工芝を敷き詰めるとともに、屋外型の冷却装置及び保水性ブロックなどを設置し、その効果を検証しております。ヒートアイランド対策には行政のみならず、ビルメンテナンス業に従事される方々と施設の所有者などによる主体的な取り組みが不可欠ですので、今後とも、会員の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

最後に、社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



北九州市長  
北橋 健治

安全で快適な都市環境の維持・発展に向け、大きく前進されることを期待します。

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会の皆様には、創立以来、建築物の快適な環境と安全性を確保するため、関係業界の指導育成にご尽力され、多大な成果を収められています。

また、都市ビル環境の日には、「クリーンアップ福岡」として各地の歩道や公園などで清掃・美化運動に取り組んでいただいております、皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

近年、経済発展やライフスタイルの多様化により、建築物を取り巻く環境は大きく変化しています。同時に、都市部でのヒートアイランド現象が、環境破壊や地球温暖化とともに、大変深刻な問題となってきており、本市におきましても、熱帯夜及び真夏日の日数の増加傾向が見られます。

これらの問題をふまえて、北九州市では、平成19年に、「クールシティ中核街区パイロット事業」の対象モデル街区として指定を受けた小倉都心部において、民間事業者が実施する、屋上緑化や高反射性塗装・保水性建材の活用等のヒートアイランド対策に効果のある事業を推進しています。

さらに本年7月には、政府が選定した「環境モデル都市」6市町のうちの1つに選ばれ、「低炭素社会」への転換を進め、国際社会を先導していくために、温室効果ガスの大幅削減に向けた行動計画の策定に取り組んでいるところです。

このような中、貴協会においてヒートアイランド現象に着目された「都市冷却化への挑戦」をテーマとしたシンポジウムを開催されますことは、大変意義深いことだと思います。

皆様には、シンポジウムの成果を十分に生かしていただき、今後とも安全で快適な都市環境の維持・発展に向けて大きく前進されることを期待しています。

結びに、(社)福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

# 2008 都市ビル環境の日 シンポジウム

## 基調講演

13:50 ~



## 山本 晴彦

国立大学法人 山口大学農学部生物資源環境科学科  
環境情報学教育研究分野（農業環境学）教授

### Profile

昭和32年生まれ  
昭和60年3月 山口大学農学部卒業  
昭和60年4月 農林水産省研究員（九州農業試験場）  
平成6年4月 山口大学助手（農学部）  
平成7年12月 山口大学助教授（農学部）  
平成14年12月 山口大学教授（農学部）

## 福岡市の取り組み

14:50 ~



## 安部 修

福岡市環境局温暖化対策課 課長

### Profile

昭和32年 福岡県生まれ  
昭和55年 福岡市役所入庁  
以降、東区役所、労務、財政、地下鉄・アイランドシティ建設、  
人権・同和行政等を経て平成20年4月より現職

## 統括講演

15:40 ~



## 石原 修

国立大学法人 熊本大学大学院自然科学研究科 教授  
学長特別補佐（社会・地域貢献担当）

### Profile

昭和20年生まれ  
九州大学大学院工学研究科修士課程修了、工学博士（九州大学）  
平成3年 熊本大学工学部教授  
平成10～12年 熊本大学産学官連携研究推進機構副機構長  
平成17年～ 熊本大学学長特別補佐（社会・地域貢献担当）  
受賞：空気調和・衛生工学会賞（論文賞）、日本建築学会賞論文賞、  
日本太陽エネルギー学会最優秀論文賞 など

## 青年部の企画

### 『地球温暖化クイズ』

共栄ビル管理株式会社 草場 心哉

現在、温室効果ガス急増により温暖化が加速し、毎日のように環境問題が叫ばれています。温暖化の影響は地球規模で異常気象、海面上昇、砂漠化、生態系の変化、食糧生産危機等の悪影響を及ぼしています。特に都市部に於いてはヒートアイランド現象により35度以上の真夏日で熱中症が増加し、夜は25度以上の熱帯夜が続き、更に一時間に50ミリ以上の集中豪雨が最近頻繁に発生する状況に陥っています。しかし、このような問題をひとり一人で考え、それを実行していくのは難しいところです。

青年部ではこれらの問題を身近に感じてもらえるようにと種々検討した結果、地球温暖化に関わる問題をクイズ形式で会場の皆さん全員にご参加頂き、理解を深めてもらいたいと本企画を実施することに致しました。

ご来場の皆様にはふるってご参加頂くことを切にお願い致します。尚、正解率の高い方は豪華エコ商品を準備していますことを念のため申し添えます。



「クリーンアップ福岡」の  
実施にあたって

# 住みよ街福岡

株式会社シンコー 仲前 友明

都市ビル環境の日は、例年10月4日に行われますが、第14回目となる今年は土曜日にあたるため10月3日に開催されます。

英国の雑誌によると、福岡は「世界でもっとも住みやすい都市」部門で17位に選ばれました。評価の要点は、建築物、デザイン、グルメ、公共機関の利便性などが挙げられています。「クリーンアップ福岡」の清掃活動において、県民のご理解、ご協力を得て、海外から来福される方々に福岡をきれいな街と感じてもらえるよう、更に順位アップの手助けになれば幸いです。

今年の7月1日より路上禁煙地区が拡大されていますが、煙草のポイ捨てはまだまだ見受けられます。協会としても、公益社団法人化に向けての大事な行事です。会員の皆様におかれましても、今後ご尽力のほど宜しくお願い申し上げます。



第13回  
「クリーンアップ福岡」  
スナップショット  
2007年10月4日実施分

## 会場案内図

### 九州エネルギー館

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目13-55  
TEL.(092)522-2333



西鉄バス 城南線「南薬院」バス停  
下車、徒歩約5分。  
西鉄バス 浄水通「九電体育館前」  
バス停下車、徒歩約1分。  
地下鉄七隈線「薬院大通駅」下車  
徒歩約5分。

## 主催

### 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階  
TEL(092)481-0431 FAX(092)481-0432

## 後援

## 福岡県

## 協賛

財団法人ビル管理教育センター  
社団法人福岡ビルディング協会  
社団法人福岡県警備業協会  
社団法人福岡県産業廃棄物協会  
社団法人福岡県建築士会  
日本環境管理学会九州支部  
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部  
有限責任中間法人全国管洗浄協会  
社団法人全国建築物飲料水管理協会福岡県支部  
福岡県管工事業協同組合連合会  
福岡県ベストコントロール協会  
福岡ガラス外装クリーニング協会